

罹災証明書・被災届出証明書交付申請書

下記のとおり被害を受けましたので、証明書の交付を申請します。
 なお、今回申請した内容については、今後の災害に関する各種業務に利用されることを承諾します。

罹災証明書発行につき、準半壊に至らない（一部損壊）被害であると判断し、実地調査の省略に同意します。
 ※該当する場合は

申請者 (罹災者)	住所 Tel () -				
	(現在の連絡先) 同上 ・ Tel () -				
	(フリガナ)				
	氏名				
窓口に来た方 ※申請者と同じ場合は記入不要です。	住所 Tel () -				
	(フリガナ)			申請者との関係	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 同一世帯の親族 <input type="checkbox"/> その他（委任状必要）
	氏名				
罹災世帯の 構 成 員	氏 名	続柄	性別	生年月日	個人番号 ※住家被害の場合、要記載
		世帯主			
罹災物件	<input type="checkbox"/> 住家（ <input type="checkbox"/> 持家 <input type="checkbox"/> 貸家 <input type="checkbox"/> 借家（所有者名： ））				
	<input type="checkbox"/> 非住家（ <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> カーポート <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> その他（ ））				
	<input type="checkbox"/> 動産（ <input type="checkbox"/> 家財 <input type="checkbox"/> その他（ ））				
	<input type="checkbox"/> 車両（メーカー： 車名： 標識番号： ））				
罹災場所	(アパート等の名称)				
罹災の原因	年 月 日に発生した <input type="checkbox"/> 台風 () 号 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> その他 ()				
被害の状況	※出来るだけ詳しくご記入ください。				
証明必要数	通	提出先			
使用目的	<input type="checkbox"/> 被災者生活再建支援制度 <input type="checkbox"/> 損害保険 <input type="checkbox"/> 見舞金 <input type="checkbox"/> 税等の減免 <input type="checkbox"/> その他 ()				

本人確認： 免許証 マイナンバーカード その他 ()

(次項あり)

※本人若しくは同一世帯以外の方が申請者の場合は、下記委任状に記入してください。

委任状

年 月 日

代理人の住所

代理人の氏名

私は、上記の者を代理人と定め、罹災証明書・被災届出証明書の交付申請に関する権限を委任します。

委任者 (罹災者)	住所
	氏名

記入上の留意点

- 1 証明書には、罹災証明書と被災届出証明書の2種類があります。
罹災証明書は、災害により被害を受けた住家について「被害の程度」を証明する書面です。なお、門扉、塀、車庫等、家屋でない構造物、付帯設備は証明の対象外となります。被害状況箇所のわかる写真、被災場所の地図の添付をお願いします。
被災届出証明書は、災害により住家以外の不動産又は動産（家財や自動車など）に被害を生じた旨の届出がなされたこと又は住家に係る罹災証明の申請を受け付けたことを証明する書面です。住家以外の不動産又は動産の場合は、被害状況箇所のわかる写真、被災場所の地図の添付をお願いします。
- 2 申請者は、運転免許証、旅券等の提示その他町長が適当と認める方法により、本人であることを示してください。
- 3 代理人の場合は、委任状の提出その他町長が適当と認める方法により、代理人であることを示してください。
ただし、代理人が申請者の同居の親族である場合は、委任状は不要です。
- 4 「罹災物件」欄には、該当する項目にレ点を記入ください。
その他や車両の場合は、具体的に記入してください。
- 5 「罹災場所」欄には、被害のあった建物の住所（登記の地番ではありません。）を記入してください。
また、アパートなどの建物名称等も記入してください。
- 6 「罹災の原因」欄には、罹災又は罹災したと思われる日付と該当する項目にレ点を記入ください。
なお、火災及び雷は、対象外となります。
- 7 「被害の状況」欄には、被害の事実だけを記入してください。
例1 「大雨による増水で〇〇丁目一帯が浸水し、床上〇〇cm浸水した。」
例2 「地震により住宅の1階部分がつぶれて使用不能になった。」
なお、住家の場合には、母屋を中心に記入してください。
※人名（個人名又は個人（法人）を特定する内容）は記入しないでください。
※被害の事実以外のことは、証明できません。
- 8 「証明必要数」欄には、証明書の必要枚（通）数を記入してください。
- 9 「提出先」欄には、証明書の提出先名称等を記入してください。